

「情報科目」受講生の意識について

教養部 横田 浩

1. はじめに

昨年度から、カリキュラムの見直しにより教養科目が大きく変化した¹⁾。さらに、来年度(1997年度)からは、新学習指導要領²⁾によって教育を受けた学生³⁾が入学してくる。また、1999年を目処に、すべての高校に一人一台のコンピュータを導入するという計画が建てられている⁴⁾。これらを受け、これからの情報教育のあり方を検討するために、学生の状況(知識・技術や意識など)を知ることが大切である。学生が、受講するまでに(実質的には入学するまでに)コンピュータに対してどのように接してきたか、すなわち、使用したことがあるか、あるならばその内容は、ということについては、すでに報告した^{5,6)}。そこで本論文では、学生の意識に焦点を絞って分析した結果を報告する。従って、意識に関するアンケートを取り始めた1991年度生以降の学生を対象とする。一部はすでに報告⁷⁾しているが、ここではそれを含め解析する。

なお、本論文では、旧カリキュラム⁸⁾の「情報科学」受講生を主としている。本来は、新カリキュラム^{1,9)}の「コンピュータ入門」・「情報論 I」・「情報論 II」の受講生について分析(解析)するのが良いと思われるが、これらについては簡単にふれる程度とする¹⁰⁾。

「情報科学」受講生へのアンケートの項目などは文献7)を参照のこと。新カリキュラム受講生に対するアンケートの内容は付録に与える。本論文では、以下の内容を取り上げて分析する。

- (1) コンピュータに対して学生が持っているイメージ。「情報科学」受講前と受講後のそれぞれについて。また、使用経験との相関関係について。
- (2) 「情報科目」の受講理由。
- (3) 「情報関連科目」について。
- (4) 購入する意思について。

本論文では、新旧の4科目を合わせて「情報科目」と呼び、新の3つを合わせて「コンピュータ入門等」と呼ぶことにする。

あくまで受講生に対するアンケートの結果であるので、奈良大生全体の意識とみなすには若干問題があると思われる。

ここで、アンケート数についてまとめておく(表1.1)。2回生以上の割合は、「情報論 II」を除き数%以下であるので、本論文では学年による検討は行わない¹¹⁾。

表1.1: アンケートの回答数

年度		国文	史学	地理	文化財	文学部	社会	産業社会	社会学部	総計
1991(H3)	1回目	94(52)	104(42)	88(18)	51(29)	337(141)	70(31)	70(12)	140(43)	477(184)
	2回目	87(51)	92(40)	81(19)	50(28)	315(138)	64(31)	62(11)	126(42)	441(180)
1992(H4)	1回目	102(55)	95(52)	101(15)	62(32)	360(154)	71(22)	100(8)	171(30)	531(184)
	2回目	100(56)	88(53)	85(15)	55(28)	328(152)	64(21)	96(8)	160(29)	488(181)
1993(H5)	1回目	79(35)	73(27)	98(19)	50(24)	300(105)	101(25)	90(9)	191(34)	491(139)
	2回目	64(28)	71(26)	91(17)	47(23)	273(94)	94(22)	87(10)	181(32)	454(126)
1994(H6)	1回目	86(45)	74(25)	88(18)	52(22)	300(110)	110(39)	86(11)	196(50)	496(160)
	2回目	25(9)	57(20)	66(25)	54(25)	202(70)	68(19)	62(8)	130(27)	332(97)
1995(H7)	コンピュータ入門	65(36)	72(29)	58(14)	37(23)	232(102)	71(25)	86(16)	157(41)	389(143)
	情報論 I	4(2)	9(3)	38(6)	11(6)	62(17)	14(6)	27(3)	41(9)	103(26)
	情報論 II	1(0)	4(1)	4(0)	0(0)	9(1)	2(1)	0(0)	2(1)	11(2)

(注1) () は、女子の数を表す。

(注2) 1994年度の2回目および1995年度は、アンケートを取り忘れたクラスがあるため、受講生より少なくなっている。

(注3) 1995年度については、複数科目を受講している学生がいる。

2. コンピュータに対するイメージ

この節では、受講生のコンピュータに対するイメージについて検討する。

最初に、単純集計について検討する。表2.1~2.3に、(回答) 学生全体のイメージを示す。表2.1、2.2に、それぞれ学部別、男女別の変化を示す。1995年度については3科目合計で集計した(一部、複数受講している学生がいるがここでは考慮しない)。

表2.1: コンピュータに対するイメージ(2つ以内) —— 受講前(学部別)

(%)	1991			1992			1993			1994			1995		
	文	社	全体												
3. 難しい	46.3	45.7	46.1	49.2	48.5	49.1	38.7	41.4	39.7	42.3	46.2	44.0	51.4	41.6	47.5
18. やってみたい	25.5	29.3	26.6	20.6	19.3	20.2	23.7	22.5	23.2	22.3	23.4	22.7	20.3	23.4	21.5
8. 最先端	20.8	22.1	21.2	19.7	19.3	19.6	20.0	19.4	19.8	20.0	16.8	18.7	18.9	20.3	19.5
2. 便利	22.0	17.1	20.5	22.5	28.7	24.3	20.7	20.9	20.8	24.7	29.9	26.9	30.7	32.5	31.4
17. 役に立つ	20.2	21.4	20.5	19.7	24.0	21.1	19.3	18.3	18.9	24.3	24.9	24.7	5.1	5.6	5.3
4. ゲーム	12.5	17.9	14.0	15.0	15.8	15.1	18.7	23.6	20.6	15.3	16.2	15.7	6.1	12.2	8.5
9. 価格が高い	9.2	9.3	9.2	15.6	7.6	13.0	14.3	11.0	13.0	13.0	12.2	12.7	14.5	8.6	12.2
6. ワープロ	7.4	6.4	7.1	4.7	3.5	4.3	6.3	7.9	6.9	4.0	4.6	4.2	4.4	2.5	3.7
15. まだわからない	7.1	7.1	7.1	5.6	7.0	6.0	4.7	9.9	6.7	4.0	1.5	3.0	23.0	24.9	23.7
1. 好き	6.5	5.7	6.3	6.7	8.2	7.2	9.3	6.3	8.1	6.3	6.6	6.2	4.7	5.6	5.1
12. 計算	4.5	3.6	4.2	1.4	0.6	1.1	1.7	3.1	2.2	0.7	2.5	1.4	3.4	0.5	2.2
13. 融通がきかない	2.7	1.4	2.3	3.1	1.2	2.5	3.0	2.6	2.9	3.7	2.5	3.2	2.7	1.0	2.0
19. 疲労	1.8	3.6	2.3	3.6	2.3	3.2	4.3	3.7	4.0	4.0	2.5	3.4	0.7	1.5	1.0
7. 楽しい	1.5	2.1	1.7	2.2	4.7	3.0	4.7	2.6	3.9	3.3	4.1	3.6	5.1	5.1	5.1
10. 嫌い	2.1	0.7	1.7	0.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6	2.0	0.5	1.4	1.0	2.0	1.4
5. こわい	1.8	0.0	1.3	1.4	0.6	1.1	2.0	2.1	2.0	1.7	2.5	2.0	0.7	3.6	1.8
16. 集中力	0.9	0.7	0.8	0.6	0.6	0.6	0.3	0.0	0.2	0.7	0.5	0.6	0.0	1.0	0.4
20. 殴りたくなる	0.3	0.7	0.4	1.7	0.6	1.3	1.0	0.5	0.8	0.0	0.5	0.2	1.4	3.0	2.0
11. やさしい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.5	0.2
14. 役に立たない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6
21. その他	1.8	2.1	1.9	2.5	0.0	1.7	2.7	1.6	2.2	2.0	0.0	1.2	1.0	0.0	0.6

(注) 順番は1991年度の(全体の)順番を基準としている。

表2.2: コンピュータに対するイメージ(2つ以内) —— 受講前(男女別)

(%)	1991			1992			1993			1994			1995		
	男	女	全体												
3. 難しい	43.7	50.0	46.1	46.8	53.3	49.1	39.2	41.0	39.7	42.9	46.3	44.0	43.8	53.8	47.3
18. やってみたい	19.5	38.0	26.6	13.9	32.1	20.2	19.6	32.4	23.2	16.0	36.9	22.7	18.5	27.8	21.7
8. 最先端	20.5	22.3	21.2	21.7	15.8	19.6	18.5	23.0	19.8	18.3	19.4	18.7	20.4	18.3	19.7
2. 便利	19.5	22.3	20.5	22.8	27.2	24.3	19.6	23.7	20.8	25.7	29.4	26.9	31.2	31.4	31.2
17. 役に立つ	20.5	20.7	20.5	21.1	21.2	21.1	20.2	15.8	18.9	23.1	28.1	24.7	4.6	6.5	5.3
4. ゲーム	22.2	1.1	14.0	21.1	3.8	15.1	26.1	6.5	20.6	21.0	4.4	15.7	11.4	3.0	8.5
9. 価格が高い	11.3	6.0	9.2	14.5	10.3	13.0	13.9	10.8	13.0	14.8	8.1	12.7	15.7	5.3	12.2
6. ワープロ	5.5	9.8	7.1	3.2	6.5	4.3	6.5	7.9	6.9	3.6	5.6	4.2	3.7	3.6	3.7
15. まだわからない	7.2	7.1	7.1	5.5	7.1	6.0	8.0	3.6	6.7	3.0	3.1	3.0	22.5	26.0	23.7
1. 好き	8.2	3.3	6.3	7.8	6.0	7.2	8.2	7.9	8.1	8.0	2.5	6.2	4.9	5.3	5.1
12. 計算	5.5	2.2	4.2	0.9	1.6	1.1	2.0	2.9	2.2	2.1	0.0	1.4	2.5	1.8	2.2
13. 融通がきかない	2.4	2.2	2.3	2.6	2.2	2.5	3.1	2.2	2.9	2.7	4.4	3.2	2.2	1.8	2.0
19. 疲労	2.4	2.2	2.3	3.8	2.2	3.2	4.0	4.3	4.0	4.1	1.9	3.4	1.5	0.0	1.0
7. 楽しい	2.4	0.5	1.7	3.2	2.7	3.0	3.4	5.0	3.9	3.6	3.8	3.6	6.2	3.0	5.1
10. 嫌い	1.7	1.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	0.6	2.1	0.0	1.4	1.2	1.8	1.4
5. こわい	1.0	1.6	1.3	0.6	2.2	1.1	1.4	3.6	2.0	2.4	1.3	2.0	1.9	1.8	1.8
16. 集中力	0.3	1.6	0.8	0.3	1.1	0.6	0.3	0.0	0.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.5
20. 殴りたくなる	0.0	1.1	0.4	2.0	0.0	1.3	0.9	0.7	0.8	0.3	0.0	0.2	1.9	2.4	2.0
11. やさしい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.3	0.0	0.2
14. 役に立たない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6
21. その他	2.4	1.1	1.9	1.4	2.2	1.7	2.0	2.9	2.2	1.2	1.3	1.2	0.3	1.2	0.6

(注) 順番は1991年度の(全体の)順番を基準としている。

表2.1と2.2から、1994年度までについては「最先端」より「便利」・「役に立つ」が上位にきたことを除けば大きな変化がないことが分かる。「最先端」というあこがれのイメージから、身近なイメージになったということは、コンピュータ自身も身近になったということの表れであろう。上位2つは、「難しい」と「やってみたい」である。実は、この2つの組み合わせで選んだ学生が多い。学生の積極性の表れと思いたい。「やってみたい」と答えた学生は、女子の比率が男子よりかなり高い(1995年度も同じ傾向にある)。実際の授業でも、女子の方が男子より学習意欲があるように感じられる点からも納得できる。学部間の差はほとんど認められない。「ゲーム」を選んだ学生は男子には2割ほどいるが、女子はほとんどいない。この傾向は変化がない。女子も比較的ファミコンをするようになってきている⁶⁾が、女子は他のイメージが強いためと考えられる。また、初めは女子が男子の2倍近くあった「ワープロ」は、ほとんど差が無くなった。これも、他のイメージへ移行したためと考えられる。

一方、1995年度で目立つのは「まだわからない」である。4人に1人が答えている。これは、「一応」「使ったことのない学生」が大半である「コンピュータ入門」が全体の77%を占めるためであろう¹²⁾。それ以外は大きな差は見られない。小さい差は、年度による変化なのか、それとも、先に述べた受講生の問題なのかは1年だけの結果では判断できない。

さらに、表2.3に、1995年度の教養科目のコース別も含めたイメージについて示す。コースによる差が目立っている。当然の結果であろう。情報・環境コースでは、「難しい」・「まだわからない」が他のコースに比べて10ポイントほど少な

く、「やってみたい」や「最先端」などが高くなっている。ただ、「ゲーム」と答えた学生の率が高いのが気になる。ゲームばかりやってきた学生が情報・環境コースに多いのだろうか？ 数%以下の項目については、回答者数が少なく（数名以下）誤差範囲と考えられるため、コースによる差を認められない。

表2.3: コンピュータに対するイメージ（2つ以内） — 1995年度

(%)	学部別		男女別		コース別			全体
	文	社	男	女	人間	国際	情報環境	
3. 難しい	51.4	41.6	43.8	53.8	50.6	53.7	39.4	47.3
2. 便利	30.7	32.5	31.2	31.4	29.2	33.1	34.1	31.2
15. まだわからない	23.0	24.9	22.5	26.0	27.5	25.6	15.9	23.7
18. やってみたい	20.3	23.4	18.5	27.8	20.6	19.0	23.5	21.7
8. 最先端	18.9	20.3	20.4	18.3	19.7	15.7	22.7	19.7
9. 価格が高い	14.5	8.6	15.7	5.3	11.6	8.3	17.4	12.2
4. ゲーム	6.1	12.2	11.4	3.0	5.6	9.1	13.6	8.5
17. 役に立つ	5.1	5.6	4.6	6.5	7.3	3.3	3.8	5.3
1. 好き	4.7	5.6	4.9	5.3	4.7	3.3	6.1	5.1
7. 楽しい	5.1	5.1	6.2	3.0	4.3	5.0	6.1	5.1
6. ワープロ	4.4	2.5	3.7	3.6	3.0	5.0	3.8	3.7
12. 計算	3.4	0.5	2.5	1.8	1.7	3.3	1.5	2.2
13. 融通がきかない	2.7	1.0	2.2	1.8	2.1	3.3	0.8	2.0
20. 殴りたくなる	1.4	3.0	1.9	2.4	0.4	3.3	3.8	2.0
5. こわい	0.7	3.6	1.9	1.8	2.1	1.7	1.5	1.8
10. 嫌い	1.0	2.0	1.2	1.8	1.7	0.0	0.8	1.4
19. 疲労	0.7	1.5	1.5	0.0	2.6	1.7	0.8	1.0
14. 役に立たない	1.0	0.0	0.6	0.6	0.9	0.0	1.5	0.6
16. 集中力	0.0	1.0	0.6	0.0	0.4	0.8	0.8	0.5
11. やさしい	0.0	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
21. その他	1.0	0.0	0.3	1.2	0.9	0.8	0.0	0.6

(注1) 学部別・男女別は表2.1、2.2の再録。ただし、順番は1995年度の全体の順序に変更してある。

(注2) コース別には、2回生以上は含まれない。

次に、表2.4、2.5に、第2回目、すなわち授業終了後のイメージの変化を示す（それぞれ学部別・男女別である。1995年度はなし）。第1回目のイメージとは変化している。受講後では、「難しい」が半数を越える。また、「融通が利かない」・「殴りたくなる」が増加している。もちろん、これは授業内容^{8,12)}と無関係ではない。先の報告⁷⁾の付録の感想¹³⁾にもあるように、むしろ予想されることである。この点からも情報科目の授業内容はどうあるべきか¹⁴⁾ということも大事な問題である。ただし、本論文では授業内容の検討は行わない。情報教育のカリキュラムと絡んだ問題であり、今後の（カリキュラム変更を伴う）課題である¹⁵⁾。

表2.4: コンピュータに対するイメージ(2つ以内) —— 受講後(学部別)

(%)	1991			1992			1993			1994		
	文	社	全体									
3. 難しい	52.1	54.8	52.8	49.7	66.0	55.0	47.3	56.9	51.3	48.8	54.7	51.1
2. 便利	22.2	19.8	21.5	22.6	22.0	22.4	22.7	20.4	21.9	25.9	24.2	25.2
8. 最先端	13.3	11.1	12.7	10.7	13.2	11.5	11.7	15.5	13.1	17.9	14.8	16.7
9. 価格が高い	12.7	9.5	11.8	16.8	10.1	14.6	14.7	9.4	12.6	13.9	11.7	13.1
15. まだわからない	8.9	18.3	11.6	10.1	16.4	12.1	11.4	9.9	10.8	9.0	7.8	8.5
17. 役に立つ	12.4	8.7	11.3	11.0	10.7	10.9	12.8	9.4	11.3	11.9	9.4	10.9
4. ゲーム	9.2	12.7	10.2	14.6	18.2	15.8	15.4	19.9	17.3	19.4	16.4	18.2
13. 融通がきかない	9.8	6.3	8.8	10.1	5.0	8.4	7.7	3.9	6.2	5.5	14.8	9.1
1. 好き	6.7	12.7	8.4	7.6	7.5	7.6	8.4	9.9	8.8	9.0	5.5	7.6
19. 疲労	7.6	9.5	8.2	4.6	6.3	5.1	6.6	7.2	7.1	2.5	7.0	4.3
18. やってみたい	5.1	13.4	7.5	5.8	3.1	4.9	11.7	8.8	10.6	8.0	5.5	7.0
7. 楽しい	7.0	5.6	6.6	6.1	4.4	5.5	5.1	4.4	4.6	6.0	3.9	5.2
20. 殴りたくなる	6.7	4.0	5.9	5.5	3.1	4.7	4.4	4.4	4.4	4.5	5.5	4.9
6. ワープロ	5.4	4.8	5.2	4.9	3.8	4.5	5.1	3.3	4.4	5.5	6.3	5.8
12. 計算	4.1	4.8	4.3	3.0	2.5	2.9	3.7	3.3	3.3	2.0	3.9	2.8
10. 嫌い	5.1	0.8	3.9	2.1	2.5	2.3	2.6	6.1	4.0	2.5	3.9	3.0
5. こわい	2.2	1.6	2.0	4.0	1.9	3.3	2.6	1.7	2.2	2.5	0.8	1.8
16. 集中力	1.9	1.6	1.8	0.9	0.6	0.8	0.7	0.0	0.4	0.5	0.0	0.3
11. やさしい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0
14. 役に立たない	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.4	2.2	1.1	0.0	1.6	0.6
21. その他	2.2	0.0	1.6	3.3	1.9	2.9	2.2	0.6	1.5	2.0	2.3	2.1

(注) 順番は1991年度の(全体の)順番を基準としている。

表2.5: コンピュータに対するイメージ(2つ以内) —— 受講後(男女別)

(%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
3. 難しい	46.4	62.2	52.8	51.0	61.9	55.0	47.4	61.4	51.3	49.6	54.7	51.1
2. 便利	21.8	21.1	21.5	20.3	26.0	22.4	23.4	18.1	21.9	25.2	25.3	25.2
8. 最先端	14.6	10.0	12.7	13.4	8.3	11.5	12.6	14.2	13.1	16.7	16.8	16.7
9. 価格が高い	14.2	8.3	11.8	17.3	9.9	14.6	12.9	11.8	12.6	14.5	9.5	13.1
15. まだわからない	9.6	14.4	11.6	12.4	11.6	12.1	11.4	9.4	10.8	9.0	7.4	8.5
17. 役に立つ	11.5	11.1	11.3	9.8	12.7	10.9	11.7	10.2	11.3	9.4	14.7	10.9
4. ゲーム	15.7	2.2	10.2	23.2	3.3	15.8	21.8	5.5	17.3	23.1	6.3	18.2
13. 融通がきかない	8.4	9.4	8.8	7.2	10.5	8.4	7.7	2.4	6.2	7.3	13.7	9.1
1. 好き	10.7	5.0	8.4	8.2	6.6	7.6	9.8	6.3	8.8	8.5	5.3	7.6
19. 疲労	7.7	8.9	8.2	4.2	6.6	5.1	5.5	11.0	7.1	5.1	2.1	4.3
18. やってみたい	3.8	12.8	7.5	2.9	8.3	4.9	6.5	21.3	10.6	6.4	8.4	7.0
7. 楽しい	8.4	3.9	6.6	4.9	6.6	5.5	5.2	3.1	4.6	3.8	8.4	5.2
20. 殴りたくなる	6.1	5.6	5.9	6.2	2.2	4.7	4.6	3.9	4.4	5.1	4.2	4.9
6. ワープロ	5.7	4.4	5.2	3.6	6.1	4.5	4.9	3.1	4.4	6.0	5.3	5.8
12. 計算	3.1	6.1	4.3	2.6	3.3	2.9	2.8	4.7	3.3	2.1	4.2	2.8
10. 嫌い	3.8	3.9	3.9	3.3	0.6	2.3	3.7	4.7	4.0	3.8	1.1	3.0
5. こわい	1.9	2.2	2.0	2.9	3.9	3.3	1.8	3.1	2.2	0.9	4.2	1.8
16. 集中力	1.9	1.7	1.8	0.7	1.1	0.8	0.3	0.8	0.4	0.4	0.0	0.3
11. やさしい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
14. 役に立たない	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	1.5	0.0	1.1	0.9	0.0	0.6
21. その他	1.1	2.2	1.6	2.9	2.8	2.9	1.5	1.6	1.5	1.3	4.2	2.1

(注) 順番は1991年度の(全体の)順番を基準としている。

最後に、使用経験との相関について検討する。全体として年度変化が少ないので1991～1994年度の全学生の第1回目のイメージについて、ファミコン・ワープロ専用機・パソコン等を使用したことがあるかないかによって違いがあるかどうかをみる(表2.6)。

表2.6: コンピュータに対するイメージ(2つ以内:使用経験別)

(%)	無 150	F 316	W 143	P 356	FW 69	FP 284	WP 80	全 600	総計 1,998
3. 難しい	63.3	57.3	53.8	43.0	37.7	46.8	41.3	32.7	44.7
2. 便利	20.7	19.9	21.7	26.7	21.7	22.5	26.3	24.0	23.2
18. やってみたい	24.7	26.3	30.8	28.9	21.7	16.5	22.5	19.0	23.1
17. 役に立つ	24.7	22.5	21.0	19.1	20.3	18.7	18.8	23.0	21.3
8. 最先端	18.7	23.1	21.0	21.6	29.0	14.4	16.3	18.8	19.8
4. ゲーム	1.3	10.4	2.1	9.6	13.0	26.8	15.0	26.3	16.4
9. 価格が高い	8.0	11.1	6.3	11.0	15.9	15.8	11.3	13.3	12.0
1. 好き	0.7	1.6	3.5	3.1	11.6	7.4	13.8	12.0	7.0
15. まだわからない	10.0	7.3	4.9	7.0	5.8	5.6	3.8	3.5	5.7
6. ワープロ	2.7	3.2	9.8	4.8	0.0	4.2	3.8	8.7	5.6
19. 疲労	2.0	3.8	3.5	2.8	1.4	4.2	7.5	2.7	3.3
7. 楽しい	2.0	1.6	3.5	1.7	7.2	1.8	2.5	5.0	3.1
13. 融通がきかない	2.0	2.5	2.8	3.9	2.9	3.2	2.5	2.0	2.7
12. 計算	2.7	1.6	2.8	2.8	0.0	1.4	5.0	2.2	2.2
5. こわい	4.0	2.8	4.2	1.7	1.4	0.7	0.0	0.7	1.6
10. 嫌い	0.7	1.6	1.4	1.7	1.4	0.4	0.0	0.8	1.1
11. やさしい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	5.0	1.8	1.0
20. 殴りたくなる	0.0	0.9	0.7	0.8	0.0	1.1	0.0	0.7	0.7
16. 集中力	0.7	0.0	0.0	0.8	2.9	0.0	1.3	0.7	0.6
14. 役に立たない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21. その他	1.3	0.3	1.4	1.7	1.4	3.2	5.0	1.5	1.7

(注1) それぞれの記号は以下に従う。

F:ファミコンのみ、W:ワープロ専用機のみ、P:パソコンのみ

FW:FとW、FP:FとP、WP:WとP

無:全く使用経験が無い、全:全てを使用したことがある

(注2) 記号の下の数値は、それぞれの人数を表している。

(注3) 順番は、総計(1991～1994年度の合計)の順に並べた。

使用したことが無いほど、「難しい」・「まだわからない」・「こわい」と感じ、また、「やってみたい」と思っている。一方、使用したことがあるほど「ゲーム」・「価格が高い」・「好き」が多くなっている。利用内容が主としてゲームということや、使用したことがなければ価格についても関心がないと思われるから、当然の結果であろう。

「最先端」を始めとして抽象的なイメージには、ほとんど差が無い。「便利」も差が無いが、本格的な使用をしていない状況では、自然であると思う。

3. 「情報科目」を受講した理由

この節では、何故「情報科目」を受講したのかについてみる。カリキュラムや授業内容の違い¹²⁾があるので、「情報科学」受講生と「コンピュータ入門等」の受講生とは、単純に比較できない。

表3.1： 受講した理由（3つ以内）

学部別 (%)	1991			1992			1993			1994		
	文	社	全体									
4. 現代社会では必要	69.9	72.1	70.6	76.3	72.9	75.1	74.5	77.0	75.5	73.2	70.1	71.8
3. 就職に役立つ	56.5	66.4	59.5	50.0	58.2	52.8	51.3	52.4	51.7	51.8	59.4	54.7
1. 興味があった	54.2	56.4	54.8	54.5	53.5	54.1	63.8	55.0	60.3	58.2	62.4	59.8
5. 新しい科目である	20.2	21.4	20.8	22.3	20.0	21.4	23.5	24.1	23.7	19.7	22.3	20.7
2. 専門（学科）に役立つ	12.8	30.7	18.1	19.6	27.6	22.2	23.8	32.5	27.2	24.1	24.9	24.5
8. 他に科目がなかった	19.9	5.7	15.8	18.2	15.3	17.3	13.4	11.0	12.5	11.7	12.7	12.1
7. 学生便覧を読んで	3.6	3.6	3.6	5.0	8.8	6.3	7.7	7.9	7.8	7.4	7.1	7.2
6. 先輩にすすめられて	3.9	2.1	3.4	6.7	2.9	5.5	1.3	2.6	1.8	4.7	4.1	4.4
10. 時間割の都合	4.2	1.4	3.4	5.0	1.8	4.0	4.4	3.1	3.9	8.0	5.6	7.0
9. 単位がとりやすい	0.6	0.7	0.6	1.7	2.9	2.1	0.7	1.0	0.8	1.0	0.5	0.8
11. その他	3.0	0.7	2.3	3.9	4.1	4.0	3.7	2.6	3.3	5.4	3.0	4.4

男女別 (%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
4. 現代社会では必要	70.5	70.7	70.6	73.8	77.6	75.1	76.1	73.9	75.5	71.3	73.0	71.8
3. 就職に役立つ	57.5	62.5	59.5	48.0	61.7	52.8	46.2	65.9	51.7	50.0	64.8	54.7
1. 興味があった	57.9	50.0	54.8	54.9	52.5	54.1	62.4	55.1	60.3	59.5	60.4	59.8
5. 新しい科目である	19.5	22.3	20.8	18.6	26.8	21.4	24.2	22.5	23.7	22.5	17.0	20.7
2. 専門（学科）に役立つ	19.2	16.3	18.1	24.4	18.0	22.2	27.4	26.8	27.2	21.9	30.2	24.5
8. 他に科目がなかった	15.1	16.8	15.8	19.8	12.6	17.3	12.3	13.0	12.5	13.0	10.1	12.1
7. 学生便覧を読んで	4.1	2.7	3.6	6.4	6.0	6.3	9.7	2.9	7.8	9.2	3.1	7.2
6. 先輩にすすめられて	3.1	3.8	3.4	4.4	7.7	5.5	2.0	1.4	1.8	4.7	3.8	4.4
10. 時間割の都合	4.1	2.2	3.4	4.9	2.2	4.0	4.3	2.9	3.9	8.9	3.1	7.0
9. 単位がとりやすい	0.7	0.5	0.6	3.2	0.0	2.1	1.1	0.0	0.8	1.2	0.0	0.8
11. その他	2.1	2.7	2.3	4.7	2.7	4.0	2.6	5.1	3.3	3.3	6.9	4.4

(注) とともに、順番は1991年度の（全体の）順番を基準としている。

まず、「情報科学」受講生の理由を表3.1に示す。20%以上の上位5つは、ほぼ同じである。ただ、「就職に役立つ」と「興味がある」が逆転している。これは、男子学生の変化によるものである。女子学生では変わっていない。また、「専門に役立つ」も女子に多いことから、女子の方が現実的ということなのだろうか。それとも、女子の方が就職難と言われていることが、影響しているのかもしれない。このことが、最後まで授業を受ける率が女子では高く、男子はやめる率が高いことと関係があると思われる（表1.1で、第1回目と第2回目での変化をみればよく分かる）。

注目に値するのは、常に6位の「他に科目がなかった」が、10数%いることである。旧カリキュラムでは、「情報科学」は自然科学科目であり、7科目の中から2科目選択必須の内の一科目である。このため、「地学」・「生物」と並んで

受講希望が多い¹⁶⁾。このことが、受講に大きく作用しているものと思われる。

「学生便覧を読んで」・「先輩に勧められて」が少ない。これは、1年生でしかも入学してすぐに登録しなければならないことから、無理はないであろう。

表3.2： 受講した理由（3つ以内）

1995年度 (%)	学部別		男女別		コース別			科目別			1995 全体
	文	社	男	女	人間	国際	情報環境	入門	情報論I	情報論II	
10. 使い方を知りたい	75.5	68.4	68.3	81.7	81.0	71.9	61.1	76.2	61.2	58.3	72.9
4. 現代社会では必要	67.8	68.4	69.2	65.7	71.6	62.0	67.9	69.5	67.0	16.7	68.0
1. 興味があった	50.3	57.7	56.0	47.9	52.2	54.5	51.9	53.2	54.4	41.7	53.2
3. 就職に役立つ	33.9	31.6	30.5	37.3	31.0	45.5	26.7	34.6	26.2	16.7	32.8
2. 専門（学科）に役立つ	14.1	12.8	14.5	11.8	7.8	9.9	27.5	11.6	21.4	8.3	13.6
9. 資格を取りたい	7.4	9.2	6.5	11.2	7.8	8.3	6.9	8.0	7.8	16.7	8.1
6. 講義要項を読んで	5.4	3.6	4.3	5.3	5.2	4.1	4.6	4.1	5.8	0.0	4.7
8. 時間割の都合	1.3	2.6	2.5	0.6	1.3	3.3	1.5	2.1	1.0	0.0	1.8
5. 先輩にすすめられて	1.0	1.0	0.9	1.2	0.9	0.8	0.8	1.0	1.0	0.0	1.0
7. 単位がとりやすい	0.3	1.0	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.6
11. その他	1.7	1.0	1.8	0.6	1.3	1.7	1.5	1.0	1.9	8.3	1.4

(注1) コース別には、2回生以上は含まれない。

(注2) 情報論IIは10名程度なので、データとしては意味がない。

「コンピュータ入門等」の受講生の受講理由を表3.2に示す。学部別、男女別、コース別にまとめた。当然、受講科目によって理由が異なると思われるので、科目別の受講理由も、併せて掲載した。

男女差が目立つのは、「使い方を知りたい」・「就職に役立つ」・「資格を取りたい」という実用的な理由が女子に多く、「興味があった」が男子に多いということである。これは、それまでの傾向と同じである。学部間には大きな差異は認められない。コース別では、人間コースは「使い方を知りたい」が、国際関係コースでは「就職に役立つ」が、情報・環境コースでは「専門（学部）に役立つ」が他に比べて目立って多い。情報・環境コースには地理および社会学部の学生が多いことと関係していると考えられる。人間および国際関係コースは、そのコースの特徴を表してしる应考虑してよいのではないか。

科目別についてみる。「コンピュータ入門」で、「使い方を知りたい」が多いのは授業内容からいって当然である。ところが、「情報論I」でも6割が「使い方を知りたい」と回答している。この科目は、講義主体である。確かに、電子メールの実習を簡単に行うが、どんなものかを体験する程度である。これに対する回答であろうか？ それとも、情報科目はすべて使い方を教えてくれる授業であると思っているのでであろうか？ 授業態度を見る限り前者であるとは思えない。真意が掴みかねる結果である。それ以外は妥当である。

4. 「情報関連科目」について

ここでは、「情報関連科目」に対する気持ちについて分析する。新カリキュラムの科目「コンピュータ入門等」では、受講後のアンケートは行っていないので、これは「情報科学」受講生の意識である。カリキュラムが大きく変わったので、これからの参考にするには疑問が残るが、参考としてまとめる。

表4.1： 情報関連科目について ― 学部別

質問(%)	1991			1992			1993			1994		
	文	社	全体									
質問(1)												
1. はい	33.3	46.8	37.2	25.0	38.8	29.5	32.6	33.7	33.0	35.6	27.7	32.5
2. いいえ	25.7	16.7	23.1	30.2	16.3	25.6	23.8	29.3	26.0	24.3	33.1	27.7
3. どちらともいえない	41.0	36.5	39.7	44.8	45.0	44.9	43.6	37.0	40.9	40.1	38.5	39.8
質問(2)												
1. はい	24.1	28.6	25.4	21.6	26.3	23.2	26.4	25.4	26.0	26.2	20.0	23.8
2. いいえ	43.2	33.3	40.4	43.6	31.9	39.8	40.3	43.1	41.4	39.1	47.7	42.5
3. どちらともいえない	32.7	38.1	34.2	34.8	41.9	37.1	33.3	31.5	32.6	34.7	32.3	33.7
質問(3)												
1. もっと増やすべき	35.6	45.2	38.3	43.6	46.3	44.5	49.8	38.1	45.2	52.0	44.6	49.1
2. いまのままでよい	40.6	33.3	38.5	31.7	36.9	33.4	28.6	38.1	32.4	25.7	33.1	28.6
3. 減らすべきである	1.9	2.4	2.0	3.7	1.3	2.9	3.3	2.8	3.1	3.5	8.5	5.4
4. どちらでもよい	21.9	19.0	21.2	21.0	15.6	19.3	18.3	21.0	19.3	18.8	13.8	16.9

表4.2： 情報関連科目について ― 男女別

質問(%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
質問(1)												
1. はい	42.1	30.0	37.2	31.6	26.0	29.5	33.5	32.3	33.0	34.5	27.8	32.5
2. いいえ	21.1	26.1	23.1	23.1	29.8	25.6	25.5	27.6	26.0	26.8	29.9	27.7
3. どちらともいえない	36.8	43.9	39.7	45.3	44.2	44.9	40.9	40.2	40.9	38.7	42.3	39.8
質問(2)												
1. はい	32.6	15.0	25.4	26.1	18.2	23.2	25.8	26.0	26.0	24.3	22.7	23.8
2. いいえ	33.7	50.0	40.4	38.8	41.4	39.8	41.5	41.7	41.4	40.4	47.4	42.5
3. どちらともいえない	33.7	35.0	34.2	35.2	40.3	37.1	32.6	32.3	32.6	35.3	29.9	33.7
質問(3)												
1. もっと増やすべき	44.4	29.4	38.3	44.0	45.3	44.5	42.5	52.8	45.2	48.5	50.5	49.1
2. いまのままでよい	35.2	43.3	38.5	36.2	17.7	33.4	35.1	26.0	32.4	29.8	25.8	28.6
3. 減らすべきである	2.3	1.7	2.0	3.9	1.1	2.9	3.4	1.6	3.1	6.4	3.1	5.4
4. どちらでもよい	18.0	25.6	21.2	16.0	24.9	19.3	19.1	19.7	19.3	15.3	20.6	16.9

表4.1に学部別、表4.2に男女別の意見を示す。内容として (1) 今後も情報関連科目を受講したいか？ (2) もし、「情報科学」のアドバンスコースが開講されたら受講したいか？ (3) 情報関連科目を開講数について増やすべきか減らすべきか？ を訪ねた。

質問(1)、(2)については、社会学部で年々受講したいと思っている学生が減少し、文学部では増加している。どちらかというところ、社会学部の方が必要と思われるし、情報関連の開講科目も多いので、意外な結果である。男女別でみると、女子の方が肯定的な意見が多いので、その表れとも思われるが、表を比べてみると単に男女差だけで理解するには無理があるように思われる。

同様に(3)についても、文学部や女子で増やすべきと考えている学生が多い。社会学部に比べて、文学部では情報関連の開講科目が少ないためかもしれないが、上記の件と合わせると、文学部さらには女子の方が積極的なものかもしれない。

では、実際に「情報科学」のアドバンスコースとして開講された「実験自然科学(三)」の受講状況はどうだったかというところ、受講者は極めて少なかった¹⁷⁾。従って、単なる意識だけで、実際受けようという気持ちは少ないものと思われる。

全体の8割が現状維持以上を希望していることを考慮して、今後のカリキュラムを検討すべきであると思われる。しかしながら、「真」の学生の意識について知ることは、かなり難しい。

5. コンピュータ購入に対する意識

最後に、ワープロ専用機・パソコン(パーソナルコンピュータ)の購入に関する意思についてまとめる。「情報科学」受講生については、受講前後の意識の変化についてもみることにする。本論文では、現在持っていない学生に対する集計を行う。表5.1にワープロ専用機、表5.2にパソコンについて示す。学部別については、イメージ同様男女比の差と考えられる結果なので、男女別のみ掲載する。

表5.1: ワープロ専用機を購入したいかどうか?

受講前 (%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
できるだけ早く	18.8	17.2	18.2	14.6	17.7	15.6	11.8	9.3	11.1	17.0	9.3	14.7
お金の準備ができたなら	38.2	36.9	36.7	38.0	39.6	38.5	40.8	48.8	43.1	32.4	45.3	36.6
授業を受けてから	17.0	23.0	19.5	17.7	19.8	18.4	20.9	25.6	22.2	19.7	25.6	21.6
現在、買う気はない	24.1	16.4	20.9	27.1	19.8	24.7	22.7	14.0	20.2	26.6	18.6	23.8
その他	1.8	6.6	3.8	2.6	3.1	2.8	3.8	2.3	3.4	4.3	1.2	3.3
	58.0	66.3	61.2	55.5	52.2	54.2	59.9	61.6	60.5	55.6	53.8	54.9

(注1) 表の下の数値は回答した学生の率、すなわち持っていない学生の比率を表している。

(注2) 表の中の数値は回答した学生(持っていない学生)に対する比率であって、全学生に対するものではない。

受講後 (%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
受講中に買った	5.1	8.7	6.6	6.1	9.3	7.2	8.9	6.9	8.3	4.3	5.5	4.7
購入機種を検討中	6.9	6.1	6.6	6.1	1.9	4.7	5.2	4.2	4.9	6.5	3.6	5.7
将来買いたい	51.4	60.9	55.2	46.0	61.7	51.3	53.1	63.9	55.6	47.8	69.1	53.9
買う気はない	32.6	21.7	28.3	38.5	20.6	32.5	29.6	22.2	28.1	36.2	18.2	31.1
その他	4.0	2.6	3.4	3.3	6.5	4.4	3.3	2.8	3.1	5.1	3.6	4.7

(注) 数値は受講前から持っているとは回答した学生を除いた比率であって、全学生に対するものではない。

表5.2： パソコンを購入したいかどうか？

受講前 (%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
できるだけ早く	10.9	0.7	6.5	6.9	3.2	5.6	4.9	3.7	4.6	7.9	2.7	6.3
お金の準備ができたなら	23.3	13.3	19.0	27.6	22.6	25.8	32.1	16.8	27.4	30.8	21.6	28.0
授業を受けてから	30.7	44.7	36.6	35.5	38.7	36.7	35.8	43.0	38.0	32.6	45.0	36.6
現在、買う気はない	33.7	38.7	35.8	28.6	33.1	30.2	25.1	32.7	27.4	25.6	29.7	26.8
その他	1.5	2.7	2.0	1.4	2.4	6.8	2.1	3.8	2.6	3.1	0.9	2.4
	68.9	81.5	73.8	62.7	67.4	64.2	69.0	70.7	71.3	67.2	69.4	67.6

(注1) 表の下の数値は回答した学生の率、すなわち持っていない学生の比率を表している。

(注2) 表の中の数値は回答した学生(持っていない学生)に対する比率であって、全学生に対するものではない。

受講後 (%)	1991			1992			1993			1994		
	男	女	全体									
受講中に買った	1.5	0.0	0.8	3.1	1.3	2.3	2.5	0.9	2.0	5.5	3.6	4.9
購入機種を検討中	2.9	3.6	3.2	1.8	1.9	1.8	6.2	2.7	5.1	1.6	1.2	1.5
将来買いたい	42.0	23.1	33.4	35.6	28.9	32.8	36.0	36.0	36.1	45.4	39.3	43.4
買う気はない	50.7	69.2	59.1	55.6	57.9	56.5	52.1	51.4	51.8	41.0	44.6	41.9
その他	2.9	4.1	3.5	4.0	10.1	6.5	3.3	9.0	5.1	6.6	11.9	8.2

(注) 数値は受講前から持っていると回答した学生を除いた比率であって、全学生に対するものではない。

ワープロ専用機については、女子の方が購入に対する希望が高い。一方、パソコンは男子が高く、女子は「授業を受けてから」というのが半数近くいる。この傾向は、受講後も変わらない。「買う気がない」が、両方とも増加している。特に、パソコンは1.5～1.9倍になっている。これは、「難しい」というイメージの増加と無関係ではないと思う。「パソコンの使い方を教えるのが目的ではない」授業内容^{8,12)}のためかもしれない。ワープロについては、授業で少し操作法を説明したので、パソコンよりは、身近になったのかもしれない。

しかしながら、購入を希望する学生の割合が年々増加しているということは、結論付けてもよいと思う。「お金の準備ができたなら」購入したいという学生が、多いにもかかわらず、「購入した」等が少なく、「将来買いたい」という学生が多い。まだ、コンピュータは学生にとっては、高くて手がでないということなのであろう。

1995年度についても、同じような傾向にあるので省略する。

6. おわりに

以上、「情報科目」を受講した学生に対するアンケートから学生の意識に関する部分について分析してきた。基本的な部分では、先の報告⁷⁾と変わるところはない。使用経験が増加している⁶⁾が、余り意識に変化はないということだろう。

コンピュータに対するイメージは男女間の差が大きく、その反映として学部間に差がでていいるものと考えられる。一方、受講理由は、学部の特徴がでて、単に

男女間の差だけで理解することができなくなっている。

社会を取りまく情報環境の変化は目まぐるしく速い。ネットワーク（というよりインターネット）化・マルチメディア化が当たり前になってきた¹⁸⁾。また、高校までの教育も変化してきた³⁾。今後の変化を見極め、よりよい情報教育環境を作っていくことが重要である。本論文での報告が今後の情報教育のカリキュラムの検討¹⁵⁾の参考になることを期待する。

謝辞

「情報関連科目」の筆者の担当以外を担当されアンケートをして頂いた湊敏教授およびアンケートをコンピュータで処理するためのデータとして入力するのを手伝ってくれた多くの学生たちに感謝する。本論文の集計には情報処理センターのCONVEX上の統計処理システムSPSSを使用した。本集計に際しては、平成7年度総合研究所プロジェクト研究「地球・人間環境（問題）に関する総合的研究」（代表：中川寿夫教授）の補助を受けた。

注と参考文献

- 1) 新カリキュラムの「情報科目」関係については、以下を参照のこと。
横田：“「情報関連科目」の現状と問題点：奈良大学教養部の新カリキュラムについて”，平成7年度情報処理教育研究集会講演論文集（文部省，大阪大学共催），pp.93-96，1995年12月。
- 2) コンピュータ教育関係については，例えば以下を参照のこと。
正田實，吉村啓編：数学セミナー増刊「教育用コンピュータハンドブック'89」（日本評論社），1989年。
- 3) 「1995年度高等学校における情報教育実施状況調査報告」，（社）私立大学情報教育協会，1996年5月。これによると、平成7年度時点では、
 - ・情報教育は普通科で57%、職業科で99%が授業を開設している。
 - ・普通科では、コンピュータの起動・終了からフロッピィディスクの取り扱い、キーボード操作、日本語入力、文書作成などの操作教育が主であり、職業科では、基礎からプログラムまでまんべんなく扱っている。
 - ・情報の管理、情報化社会の特質、情報と倫理、データベース、通信などの項目は両者とも、ほとんど扱われていない。という結果が得られている。今後の「大学」での情報教育を考えていく上で参考にすべき結果である。
- 4) 科学技術会議（議長・橋本首相）「科学技術基本計画」。例えば、読売新聞1996年6月24日付夕刊“科学技術経費 17兆円”の記事など。

- 5) 横田：“「情報科学」受講生の受講前のコンピュータ使用経験について”，奈良大学紀要 第19号，pp.29-38，1991年3月。
- 6) 横田：“「情報科学」受講生の受講前のコンピュータ使用経験について（II）”，奈良大学総合研究所所報 No.4，pp.3-11，1996年2月。
- 7) 横田：“「情報科学」受講生の意識について”，奈良大学情報処理センター年報 No.3，pp.19-34，1992年12月。
- 8) 旧カリキュラム及び授業内容については、以下を参照のこと。
平成6年度講義要項，奈良大学発行，1994年4月。
- 9) 新カリキュラム及び授業内容については、以下を参照のこと。
平成8年度講義要項，奈良大学発行，1996年4月。

- 10) 1995年度のアンケートには以下の問題がある。
 - ・「コンピュータ入門」は一度もコンピュータに触れたことがない学生を対象としており、そのような学生を優先している。
 - ・仮登録（申請）のときに、「使用したことがない」としておきながら、授業時のアンケートでは「使用したコンピュータ」にチェックしている学生も多い。
 - ・「コンピュータ入門」は、上記科目の中では半数以上をしめている。

以上のことから、アンケートにどれだけの信頼性があるのか不明である。また、ほんとうに使用したことがない学生ばかりであれば、大学全体の意識を反映していない可能性がある。とはいっても、受講生の意識を反映していないという根拠もないので、本論文では、意識を反映しているものとして分析する。

- 11) 「情報論 II」は、コンピュータを使用したことがある学生を対象とするので、1年次生後期あるいは2年次生を対象に開講されている。又、「情報論 II」のデータは全体の2%以下にすぎない。
- 12) 授業内容を簡単にまとめる。詳細は文献8)および9)を参照のこと。
 - ・「情報科学」 ---- 自然科学科目の一つである。前期：コンピュータのしくみとフローチャートに関する講義・ワープロの実習。後期：汎用機によるFORTRANの実習（アルゴリズムの理解のため）。
 - ・「コンピュータ入門」 ---- 全コースの共通科目である（半期）。コンピュータを全く使ったことのない学生を対象に、ワープロ、表計算、グラフィックス等の実習を行う。
 - ・「情報論 I」 ---- 情報・環境コースの科目である（他のコースの学生も受講可能）。コンピュータのしくみ（ハードウェア・ソフトウェア）についての講義と電子メールの実習。
 - ・「情報論 II」 ---- 情報・環境コースの科目である（他のコースの学生も受講可能）。C言語によるプログラミングの実習。コンピュータを

使用したことがある学生を対象とする。

- 13) 文献7)の付録3で示したものと同じ感想がほとんどであるので、本論文では感想そのものについては触れない。
- 14) 平成8年度情報教育問題フォーラム資料 pp.29-30 [(社)私立大学情報教育協会主催、於立命館大学びわこ・くさつキャンパス、1996年6月28-29日、分科会「E:情報基礎教育」]で取り上げられている。
- 15) 本論文を執筆中の段階では、教養部において「情報関連科目」を今後どのようにするか(したら良いか)についての検討が始まったばかりである。
- 16) 2科目でよいのであるが、取得できなかったときのために3科目受講している学生が多い。文献7)の注4)を参照のこと。基本的には、毎年同じ傾向にあるので、ここでは触れない。
- 17) 1993年度は8名、1994年度は25名であった。ほとんどが、地理学科と社会学部の学生であった。
- 18) 最近では、テレビ・新聞・雑誌等において、インターネット・マルチメディアという言葉が聞かない・見ない日はないといっても過言ではない。また、書籍も書店に溢れている。

付録：1995年度以降のアンケートの項目

1995年度以降のアンケートの内容を掲載する。ほとんど「情報科学」、すなわち1994年度以前の第1回目のアンケートと同じであるが、一部内容を変更したところもある。

[0] あなたが受講している（した、したい）情報関係の科目は何ですか？

- コンピュータ入門
- 情報論 I (コンピュータのしくみ)
- 情報論 II (プログラミング入門)
- 情報科学 <旧カリキュラム：2回生以上のみ>

以上のそれぞれについて、以下の項目から選んで下さい。

- この科目 … 1 単位取得済み … 2
- 他の時限で受講中 … 3 今後受講予定 … 4
- 受講の意思なし … 5

受講の予定は、今現在の気持ちで結構です。履修したが、単位を取得できなかった場合は、受講していないものとして回答して下さい。

[1] あなた個人についてお尋ねします。

[1-1] あなたの学部学科は？

- 1. 国文学科 2. 史学科 3. 地理学科 4. 文化財学科
- 5. 社会学科 6. 産業社会学科

[1-2] あなたの性別は？

- 1. 男 2. 女

[1-3] あなたの学年は？

- 1. 1年次生 2. 2年次生 3. 3年次生 4. 4年次生以上

[1-4] 1年次生の人のみ：あなたの教養部での主題科目のコースは？

- 1. 人間関係コース
- 2. 国際関係コース
- 3. 情報・環境コース

[2] コンピュータに対するイメージを次の中から選ぶとしたら、どれを選びますか？（2つ以内）

- 1. 好き 2. 便利 3. 難しい 4. ゲーム
- 5. こわい 6. ワープロ 7. 楽しい 8. 最先端
- 9. 価格が高い 10. 嫌い 11. やさしい 12. 計算
- 13. 融通が利かない 14. 役に立たない 15. 役にたつ 16. 集中力
- 17. まだわからない 18. やってみたい 19. 殴りたくなる 20. 疲労

21. 1～20にはない（具体的に書いて下さい）

[3] パソコンまたはワープロ専用機の購入についてお尋ねします。
パソコン、ワープロ専用機それぞれについて回答して下さい。

1. 現在持っていないので、すぐにでも買いたい
2. 現在持っていないが、買いたいと思っている
3. 現在持っていないが、購入するつもりはない
4. コンピュータ関係の授業を受けてから考える
5. 現在持っているが、買い替えたい
6. 現在もっているので、購入予定はない

[4] 今までに、コンピュータを使用したことがありますか？（パソコン・ワープロ専用機・ファミコン等） ある … 1 ない … 2

[4-1] 使用したことがない場合、家にありますか？

家にある（家族が使用している） … 1 家がない … 2

・1のとき、あなたが使用しない理由を書いて下さい。

[4-2] 使用したことがある・現在使用している場合。

次の何を使用していますか？ また、それは誰の所有ですか？

該当するものすべてを○で囲んで下さい。該当なしのときはそのまま。

- (a) ファミコン類
- (b) ワープロ（ワード・プロセッサ）専用機
- (c) パソコン（パーソナルコンピュータ）

所有についての選択肢

1. 自分のもの（専用） 2. 家族のもの
3. 友人のもの（親戚を含む） 4. その他（学校・講習会等）

[5] ここはパソコンを使用したことがある人だけ、答えて下さい。

パソコンをどのように使用しましたか・していますか？ 該当するものすべて、○で囲んで下さい。該当なしのときはそのまま。その所有については、[4-2]に準じて下さい。

- (a) ゲーム (b) パソコン通信 (c) ワープロ
- (d) 表計算 (e) データベース (f) グラフィックス
- (g) 自分でプログラムを作成 (h) その他（具体的に書いて下さい）

例：学校のパソコンでパソコン通信をした → (b)の欄の4を○で囲む

[6] ワープロ（専用機・パソコンを問わず）を使用したことがある人に訪ねま

す。あなたは、どの程度使いこなすことができますか？

1. ほとんど初心者（人の助けがないと使う自信がない）
2. 時々、人の助けが必要だが一通り使える
3. マニュアルを見るだけで、一人で使うことができる

[7] この科目を受講した理由は何ですか？ （3つ以内）

1. コンピュータに興味があったから
2. 自分の専門（学科）に役に立つと思うから
3. 就職に役に立つと思うから
4. 現代社会では必要なことだと思うから
5. 先輩に勧められて
6. 講義要項（シラバス）を読んで
7. 単位が取りやすい科目だと思うから
8. 時間割の都合で、その時限だけ空いたから
9. 資格を取りたい
10. 使い方を知りたい
11. その他（自分で書いて下さい）

ご協力ありがとうございました